

平成30年度調達改善計画の年度末自己評価の概要

主な計画内容(年間)

取組実績等

重点的な取組

随意契約事前確認公募

■一般競争入札等から随意契約事前確認公募へ移行することとした案件について、公募期間中以外でも新規参入希望者の発掘が可能となるよう、HPでの恒常的な公表を行う

■随意契約事前確認公募に移行した案件のうち、参加の意思表示が一人のみであった3件の契約について、新たにHPを開設し公表を行った

価格交渉

■調達先が特定されている一部の調達案件を対象に、価格の見積根拠等の精査を通じて、調達案件に適切な仕様及び価格となるよう努め、調達コスト削減に努める

■随意契約事前確認公募に移行した案件4件の随意契約について価格交渉を実施した結果、契約予定者が当初提示した価格から約395.4万円(0.3%)の削減

企画競争及び総合評価落札方式の適正な審査

■「委託事業等における一般競争入札マニュアル」等について、契約を取り巻く状況に合わせ必要に応じ見直しを行う

■契約監視委員会で課題の整理を行い、「委託事業等における一般競争入札マニュアル」等の改正を行うとともに、事務連絡を省内に周知

庁費類(汎用的な物品・役務)の調達の見直し

■共同調達の実施(金融庁、会計検査院)
◇目標実施数:14類型のうち調達需要があった案件
◇共同調達を実施する案件について、比較可能な物品等を対象に対共同調達開始の前年度比1割程度の削減

■共同調達による調達改善の実施
◇共同調達の調達実績:9類型(残る5類型は調達需要なし)
◇対共同調達開始の前年度比約1,016万円(8.9%)の削減

共通的な取組

一者応札の事前審査・事後審査の実施・強化

■入札手続き開始の際のチェックリストの活用や一者応札・応募案件のアンケート調査、外部有識者による事前・事後審査等を実施する

■入札手続き開始の際のチェックリストの活用や一者応札・応募案件のアンケート調査、外部有識者による事前・事後審査等を実施し、一者応札・応募の改善に努めた

電力調達、ガス調達の改善

■一般競争入札により契約を行うことで競争性を高め、調達コスト削減を目指す

■電力の調達について、電力の調達コスト削減や温室効果ガス排出削減に向けて、裾切り方式による一般競争入札を平成30年度より2件追加し、8件実施
一般競争入札へ移行前の年度と比較可能なもの5件のうち、2件でそれぞれ約101万円(12.0%)、約67万円(22.3%)の削減

その他

定期刊行物等の縮減

■定期刊行物、雑誌、新聞等について、調達数量の縮減に努める

■外国定期刊行物の購入に当たり、電子ジャーナル購入により、重複購入していたタイトルと削減し、約27.1万円(3.7%)の削減

◇目標の達成状況:平成30年度調達改善計画の全ての取組について着実に実施しており、計画通り進捗